

平成 28 年度市自委第 9 号協働パイロット事業

「「デートDV」啓発PV（プロモーションビデオ）

制作プロジェクト」業務

特定非営利活動法人ルークス

1 委託事業の名称

平成 28 年度市自委第 9 号協働パイロット事業

「デートDV」啓発PV（プロモーションビデオ）制作プロジェクト」業務

2 事業の目的・趣旨

デートDVに関する正しい知識や認識を普及する内容のPVを作成し、多数の広報媒体を用いて配信することで、DV及びデートDVの認知度を高め、DV防止の啓発につなげる。

3 事業期間 平成 28 年 7 月 4 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

4 実施箇所 静岡市内

5 事業実施内容の報告

(1) 担当各課の担当者との打ち合わせ

協働事業担当課と打ち合わせを入念に行い、市の意向を反映させるよう努めました。また、進捗状況を随時報告し、協議を重ねました。PVの公開に当たり監修や有識者からの意見聴取の必要性があげられ、7月に松林カウンセリングルームの松林先生へ監修を依頼し正式に決定しました。

(2) 制作会議の実施

制作会議は以下のスケジュールで行いました。

- ・ 6 月 全体の構造・内容案について
- ・ 7～8 月 使用するイラスト・絵コンテについて
- ・ 9～10 月 制作中の動画の細部の調整について
- ・ 11～12 月 動画内文言・広報状況について
- ・ 平成 29 年 1～2 月 相談先掲載方法・最終チェック・広報状況について
- ・ 3 月 広報状況について

(3) 会社、新聞社など各メディアとの調整

静岡放送株式会社、静岡第一テレビ、静岡県司法書士会、静岡県警察、静岡第一法律事務所などにコンタクトを取り、結果として静岡放送株式会社、静岡第一テレビに取り上げていただくことができました。取材に際しては、協働担当課も同席いただきました。静岡県警には事業期間内には掲載できませんでしたが、引き続き掲載を検討いただいているところです。

新聞掲載による広報について、静岡新聞社にコンタクトを取りましたが、掲載の可否、

掲載時期等について明確な返答が難しいとのことで、静岡放送の方を勧めていただきました。当法人としても、ニュース番組等による周知の効果は高いと判断したため、静岡放送へ重点を置いてすすめることにしました。

#### (4) PVの作成

PVの作成については以下のスケジュールで行いました。

- ・8月 原案完成
- ・9月 イラスト・絵コンテ完成
- ・12月 仮動画完成
- ・1月～ 男女参画・多文化共生課によるチェック開始
- ・2月10日 動画完成
- ・2月27日 相談先表記 1点修正後、完全版完成

前述のとおり、PVの作成にあたっては、協働事業担当課と協議の機会を頻繁に設けることで、私たちが伝えたいことを含めながら、市の意向も反映できるよう試行錯誤を重ねました。

#### (5) PVの配信

PVの配信は以下のスケジュールで行いました。

- ・2月11日 フェイスブック・ツイッターで公開開始
- ・2月28日 You Tube 公開開始

#### (6) PVの広報

PVの広報は以下のスケジュールで行いました。

- ・1月24日 市民自治推進課による静岡県立大学での出前講座での紹介  
市民自治推進課が静岡県立大学で出前講座を実施し、そこで市内の市民活動の紹介として、当法人及び今回の協働パイロット事業での取り組みについて取り上げていただきました。ここで、作成中のPV(担当課と調整を重ね、ほぼ内容が固まったもの)を紹介していただきました。
- ・3月2日 市のホームページにルークスHPのリンク完了
- ・3月2日 神奈川県平塚市にて活動 「平塚のバラ」にて埋め込みリンクしていただいたとの報告をうけました。
- ・3月5日より上限2万円設定の下、Google Adwords を使用しYouTubeにて広告動画を開始(静岡市在住10代20代の男女にターゲティングを絞り行いました。動画表示回数は7190回、うち1840回は最後まで視聴、2065回はルークスの公開ページに飛んだうえで視聴) 広告動画を見て、広告のまま、もしくは公開ページに飛ん

だ後、動画を最後まで視聴した割合は 54.31%と約半数に上りました。

## 6 実施の結果

### (1) 協働の効果

本事業に取り組む上で市民・企業などに働きかける際、市との連携により多大な信頼感の獲得ができました。また、監修や内容への助言等、動画制作においてたくさんの貴重な意見をいただける機会をいただき、より良いものを作ることができました。

### (2) 今後への提言

この動画に「デートDV」に関心をもつきっかけとしての役割を持たせ、今後は「知る」から「考える」方へ導く活動の糧としたいです。

### (3) 協働相手（男女参画・多文化共生課）の意見・感想

当課からの課題テーマは「DV 防止啓発」であったが、特定非営利活動法人ルークスからの提案は「デートDV」に内容を絞ったものとなっており、イラスト動画を作成しインターネットに掲載する等、ターゲットである若年層に興味を持ってもらえるような仕立てとなっていたところが啓発手段として効果的であったと言える。

動画の内容検討に当たっては、行政が主催するデートDV防止に関する連続講座への参加、有識者やDV防止啓発に取り組む団体等への意見聴取等、積極的に情報収集に取り組む姿が見られた。

また、テレビ局のニュース番組にも働きかけ特集取材を受ける等、啓発動画のみならずデートDV防止啓発事業や協働パイロット事業の広報にも貢献した。

### (改善点)

契約期間内に確実に実施するためには、動画作成の協力者やSNS配信の協力者の確保等について契約後に相手方を探すのではなく、提案（審査会）の段階で確保しておくことが必要である。

## 7 感想（所感）

この事業を通して、「人へ伝えること・何かを発信することの難しさ」というものを改めて実感しました。広い視野・様々な閲覧者の視点で客観的に考える機会を要することの大事さはこれから発信者として活動していく際、決して忘れてはいけないことだと感じました。また、協働してなにかを行う場合は、協働相手の時期によった忙しさなども事前に把握して事業スケジュールを考え作ることも大事だと学びました。

広告動画を用いたことに関しては、静岡市在住の10代・20代とターゲットを絞ったため、広告掲載回数と視聴回数により関心の高さがあらわにできたと思います。

今回制作した動画というものは、作って終わりというものではありませんので、これを今後DV防止啓発にどう役立てていくか、どう広めていくかを今後も継続してつきつめていきたいと思ひます。

#### 8 協働・協力機関

静岡市市民局 男女参画・多文化共生課

#### 9 担当スタッフ

(1) 前泊 杏美

(2) 前泊 祥太

(3) 平野 愛理